



2021年10月15日

各位

会社名 株式会社オンデック
 代表者名 代表取締役社長 久保良介
 (コード番号：7360 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部マネージングディレクター
 大西宏樹
 (TEL. 06-4963-2034)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月15日開催の取締役会において、2021年1月14日に開示した2021年11月期(2020年12月1日～2021年11月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年11月期通期個別業績予想数値の修正(2020年12月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,126	214	201	130	46.10
今回修正予想(B)	815	22	15	12	4.34
増減額(B-A)	△310	△192	△186	△118	
増減率(%)	△27.6	△89.5	△92.4	△90.6	
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	811	149	137	89	36.07

2. 修正の理由

2021年11月期においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものの、Web会議やWebマーケティングを積極的に活用するなどの対策を行うことで、当社の事業に与える影響は軽微なものにとどまるとの前提で、売上高は1,126百万円(成約件数28件、コンサルタント数37名、平均報酬単価40百万円)を予想しておりました。しかしながら、当社の主要な営業基盤である首都圏、近畿圏において度重なる緊急事態宣言等が発令されるなど想定を超える感染拡大を受けて、顧客企業からはM&Aの慎重な進行を希望する傾向が強くなり、顧客企業の要望を尊重した案件のマネジメントを実施いたしました。これにより、第2四半期までの業績が低調に推移しました。第3四半期においては、通期業績予想の達成に向けて、マッチングやエグゼキューションにリソースを集中したことで、多くの案件が成約に向けて進行し、第4四半期において一定の挽回が見込まれる状況に至っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が継続することが予想される中で、特に手数料単価の大きい複数の大型案件において、ペンディングや翌期以降への延期が生じる見通しとなったことが影響し、当初業績予想を達成するには至らず、売上高は前回発表予想を下回る815百万円(成約件数23件、コンサルタント数28名、平均報酬単価35百万円)での着地となる見通しです。利益面につきましても、売上高の減少に対応して、人件費や経費などのコスト削減に努めましたが、大型案件の剥落による減収をコスト削減で補うことはできなかったことから、営業利益、経常利益、当期純利益は上表の通り前回発表予想を下回る見通しとなりました。

以上